



No.88 2008・7・6



発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963 金沢市出羽町3番1号
TEL.076(262)3236 FAX.076(262)1836
<http://www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/index.htm>

ISHIKAWA-KEN
HISTORY
MUSEUM

れ
き
は
く

夏季特別展

世界大風呂敷展

— 布で包むものと心 —



ブクジェ(シリア) 宮井(株)蔵



ボフチャ(トルコ) 宮井(株)蔵

会 期 7月19日(土)~9月7日(日)
会 場 第1特別展示室
主 催 石川県立歴史博物館・国立民族学博物館・財団法人千里文化財団
共 催 北國新聞社
後 援 ㊤㊤㊤ 金沢放送局・北陸放送・テレビ金沢
金沢ケーブルテレビネット・エフエム石川
ラジオかなざわ・ラジオこまつ・ラジオななお
特別協力 宮井株式会社・糸り華
助 成 独立行政法人日本万国博覧会記念機構
開館時間 午前9時~午後5時
(入館は午後4時30分まで)会期中無休
入 館 料 一 般 700円(560円) 大学生 550円(440円)
高校生以下無料 ()内は20名以上の団体料金

講演会 <聴講無料>
演 題 日本のふるしき、世界のふるしき
日 時 7月27日(日) 午後1時30分~
会 場 学習ホール
講 師 熊倉功夫氏
(林原美術館館長・国立民族学博物館名誉教授)
実演会「親子でチャレンジ!ふるしき講座」 <参加無料>
日 時 7月26日(土) 午後2時~
会 場 学習ホール
講 師 小林万里絵氏(千里文化財団研究員)
定 員 先着40名
列品解説 <入館料がいりません>
日 時 8月2日(土) 午後1時30分~
担 当 当館学芸員

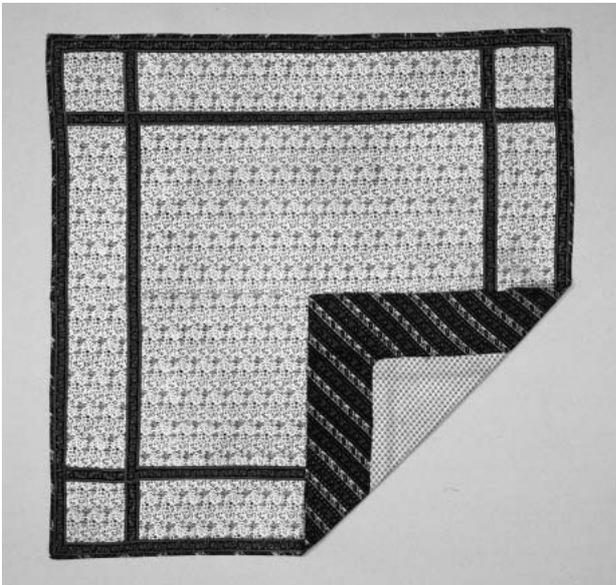
以上の催物への参加は申込不要・当日受付へお申し出下さい。

夏季特別展 世界大風呂敷展

世界の風呂敷

布で包むもの的心

世界各地にも風呂敷はある。しかも、美しい風呂敷の美を発展させた民族は多い。しかし風呂敷の作法まで作った民族は、日本以外にはすくないようだ。遺体を包む布は、歴史的にもじょように古く、世界最古の包み布のひとつはミイラ包みの布であった



ポフチェ(イラン) 宮井(株)蔵

にちがいない。イエス・キリストの遺体を包んだシートの一部といわれる布が残されているように、遺体を包む布はヨーロッパにもひろくみられる。ところが日本にはその習慣がない。そのかわり、日本には祝い風呂敷の文化が異常に発達した。出雲の祝い風呂敷にうかがえるように、嫁入り道具を包み飾りたてるために、半年以上かけて家紋入りの風呂敷一式が製作された。

こうした遺体包みや祝いの包みを考えると、包むという行為が、運搬の便利のためという実用的な機能とはことなる特別の意味をもつことに、気がつく。ものを包むだけではなく、心も包む布である、という本展覧会の副題の意味はここににある。

ものは包まれ、おおわれることで、人びとの目から隠される。そして隠されることでへの姿があらわれ、このことから包むという行為が、二重の意味をもっていることが推察できよう。すなわち、包むことで、もののかたち(日常の姿)でもいおう(を隠す)という意味と、包まれることへの入のかたち(非日常の姿)でもいおう(を顕在化させる)のである。

風呂敷の用途

歴史的にみて風呂敷には、2種類の使用法があったように思える。第一は特定のを包むためにつくられ、用意された風呂敷である。それに対して第二は、包まれるものは決められておらず、そのついで



宝尽模様風呂敷(日本) 宮井(株)蔵

ものに従って包みなおされる風呂敷である。

今日残されている古い風呂敷は、前者がおおい。その目的は保護、保存である。のちに述べるように、現存する世界最古の風呂敷は、8世紀の正倉院御物中の包み布であろう。これは舞楽の装束や袈裟などを包む「裏」(つつみ)であって、それぞれに内容物が墨書されている。特定のを包んだ状態で、200年以上保存されてきたのである。

特定のを包む風呂敷の第一類の用途のなかには、保存というだけでなく、外から一見して、その内容が判別できる徴として風呂敷がある。経典包みはその典型であろう。中国の例は精査されていないが、浙江省博物館には北宋時代の経典を包んだ



抱え布(インドネシア) 国立民族学博物館蔵

袱紗が所蔵されている。ネパール、ブータン、チベットの經典包みの方は、それぞれ微妙にことなるが、ほぼ共通した性格で、經典以外のものを包むことはない。イスラム文化圏のコーラン包みもこれに近い。デザインや色彩はいろいろであつても現地の人からみると、コーランを包むための特別な風呂敷であることが、一見してわかるのである。

こつした包まれるものがあらかじめ決められている風呂敷は、特別な色あるいは形、文様、繡柄、刺繍などをともなつて、共同体のなかでは明確に区別されている。またジェンダーによって用途が区別されることもすくなくない。インドネシアのフローレンス島の稲刈りでは、イネの魂を包む布は女性の着物である。風呂敷とジェンダーがいかなる関係をもつか、これから解明すべき興味深い問題と思える。

日常にもちいる風呂敷の場合は、第二類の、なんでも包む布である。その歴史もまた古く、興味深いのは、紀元前20世紀の粘土板史料に「長距離を運ぶためにロバの背に積まれた織物のひとつに、商品を守るんでおく一種の『風呂敷』があつた」(ホルスト・クレンゲル・1983年)とあり、と同時に革袋の輸送も記されていて、量はすくないけれども貴重な錫などは皮袋に入れて、目を封印したという。布で包んだだけでは内容物の保身に不安があつたことがわかる。その意味で風呂敷は、むしろ臨時の、しかも簡便な包みという性格がつきまとうてきたのである。したがつて布も日常のものであれば、どんな布でも転用した。

近代の日本の風呂敷は、基本的には包むものは選ばない。もちろん素材や大きさで、自ずと用途は分類されるが、それとても絶対に守られるというわけではない。また、ものを包むという用途以外の使い方は、ほとんど消えかけている。風呂敷は、一段と特化し、文化として洗練されたのである。大雑把な風呂敷の使い方ではなく、幾通りもの包み方、結び



ルーマル(インド) 宮井(株)蔵

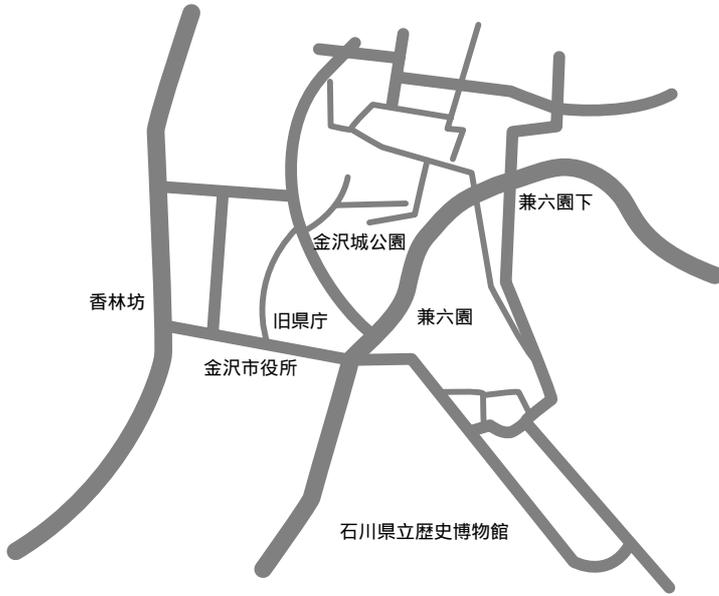
方など、風呂敷の作法といつたものが生まれ、あたかも、風呂敷が日本独自の文化のごとく思われるに至つた。こつしてみると、かえつて世界の風呂敷に、古い日本の風呂敷づかいが残っているようである。

【付記】本稿は、特別展『世界大風呂敷展』の図録解説、熊倉功夫「世界の風呂敷」を抄録したものです。詳しくは、同図録(七月十九日発売・定価一、八〇〇円)をご参照ください。また、「日本の風呂敷、世界の風呂敷」というテーマで、熊倉先生の記念講演を開催いたします。どうぞ、ご期待ください。

歴博特選・おすすめの歴史散歩コース(3)

金沢城をめぐる

おすすめの歴史散歩コース、今回で三回目となります。今回紹介するのは、平成十七年春におこないました兼六園から金沢城公園本丸に至る「金沢城散策コース」です。



兼六園

水戸借築園、岡山後楽園とならぶ日本三名園のひとつ。江戸時代の代表的な大名庭園として、加賀藩歴代藩主により、長い歳月をかけて形作られてきました。

明治記念標

中央に日本武尊像を、左に石川県戦死尽忠碑を据える明治記念之標は西南戦争で戦死した郷土軍人の霊を慰めるものです。

旭桜

雁行橋近くの「旭桜」は、かつて「公園の大桜」と呼ばれ、市民に親しまれてきました。「金沢名所」や「金沢繁昌壽嬉六」などの図版にも、立派な枝ぶりが描かれています。

石川門

門の由来は、石川郡の方に向けていて開く門であることに由来し、表門、櫓門櫓、続櫓が方形に広場を囲う典型的な枡形門です。鉛瓦、海風塀、唐破風の「出窓」を組み合わせた優雅な姿は、金沢城独自のデザインとして知られています。

河北門

名前は、河北郡に面向していることに由来します。慶長四年に新丸が城内に取り入れられるまでは、河北郡外の池には武士町人などが雑居して家屋が建っていたようです。

橋爪門

二ノ丸にあった菱櫓・橋爪門は、宝暦の大火で焼失しました。現在は、大規模な復元が完成しています。菱櫓は橋爪門の続き、五十間長屋の菱台の上にあつて、櫓の形がやや菱形です。



本丸鉄門跡

現在は、鉄門の名残があります。本丸附段より本丸へ上る入口の正門で、藩主が本丸に居館した頃は、鉄の鉄板で柱や扉を包んだ楼門でした。

(学芸主査 永井 浩)

第3回石川の歴史遺産セミナー開催



五月三十一日、「山村の構造と商品流通」をテーマに、第三回石川の歴史遺産セミナーを開催。丸山幸彦氏、宇佐美孝氏、長山直治氏の三人を講師としてお招きし、それぞれの視点から有意義なご発表をいただきました。今回は山村の社会構造を、商品生産や流通のあり方を通して考えようという内容でしたが、今年一月から始まったこのセミナーへの関心は高く、毎回多くの皆様のご参加をいただいています。

五月三十一日、「山村の構造と商品流通」をテーマに、第三回石川の歴史遺産セミナーを開催。丸山幸彦氏、宇佐美孝氏、長山直治氏の三人を講師としてお招きし、それぞれの視点から有意義なご発表をいただきました。今回は山村の社会構造を、商品生産や流通のあり方を通して考えようという内容でしたが、今年一月から始まったこのセミナーへの関心は高く、毎回多くの皆様のご参加をいただいています。

ボランティア研修



四月二十四・二十五日の二日間、歴史体験コーナーの春季ボランティア研修を実施。両日あわせて十五名の方が受講されました。内容は前年度後期から引き続いての原始古代編でしたが、「弥生ムラの風景」展開催の関係で、田下駄や卑弥呼衣装などが加わり、ぐんとバージョンアップ。子どもたちにも楽しく体験してもらったためにと、参加の皆さんも真剣な表情で取り組んでおられました。

四月二十四・二十五日の二日間、歴史体験コーナーの春季ボランティア研修を実施。両日あわせて十五名の方が受講されました。内容は前年度後期から引き続いての原始古代編でしたが、「弥生ムラの風景」展開催の関係で、田下駄や卑弥呼衣装などが加わり、ぐんとバージョンアップ。子どもたちにも楽しく体験してもらったためにと、参加の皆さんも真剣な表情で取り組んでおられました。

催事日録

五月十二日、春の歴史散歩を実施。今回のテーマは「兼六園下周辺を歩く」で二十名の皆様に参加。裏千家四代家元仙叟宗室ゆかりの西田家庭園「玉泉園」を振り出しに、大手町の仙叟宗室居士遺跡や周辺にある近代建築遺産の数々を散策。玉泉園では職員の方からご案内もいただき、充実した一日でした。



五月十二日、春の歴史散歩を実施。今回のテーマは「兼六園下周辺を歩く」で二十名の皆様に参加。裏千家四代家元仙叟宗室ゆかりの西田家庭園「玉泉園」を振り出しに、大手町の仙叟宗室居士遺跡や周辺にある近代建築遺産の数々を散策。玉泉園では職員の方からご案内もいただき、充実した一日でした。

六月一日、春季特別展が終了。弥生時代に關する最新の研究成果も紹介し、数多くの興味深い資料がずらりとそろった展覧会には、期間中数多くの熱心な考古学ファンが訪れました。さらに歴史体験コーナーには通常の原始古代編に特別展開連企画（「ボランティア研修」記事参照）も加わり、小中学生の皆さんに大好評でした。



六月一日、春季特別展が終了。弥生時代に關する最新の研究成果も紹介し、数多くの興味深い資料がずらりとそろった展覧会には、期間中数多くの熱心な考古学ファンが訪れました。さらに歴史体験コーナーには通常の原始古代編に特別展開連企画（「ボランティア研修」記事参照）も加わり、小中学生の皆さんに大好評でした。

兼六園下周辺を歩く・春の歴史散歩

「弥生ムラの風景」展開幕

月日	行事	内容
7/6(日)	常設スボット解説	律令時代の加賀・能登(永井浩 学芸主任)
7/19(土)	れきはくゼミナール	昭和時代の能登観光(本谷文雄 資料課長)
7/26(土)	実演会	「親子でチャレンジ!ふるしき講座」 講師 小林万里絵氏(千里文化財団研究員)
7/27(日)	講演会 (開講は午後1時30分)	「日本のふるしき、世界のふるしき」 講師 熊倉功夫氏(林原美術館館長・ 国立民族学博物館名誉教授)
8/2(土)	列品解説(有料) (開講は午後1時30分)	世界大風呂敷展(当館学芸員)
8/3(日)	常設スボット解説	仏と神と領主の時代(小西洋子 学芸主任)
8/16(土)	れきはくゼミナール	古典文学の意匠 源氏物語 (前田武輝 普及課長)
9/7(日)	常設スボット解説	金沢城下図屏風の世界 (濱岡伸也 学芸専門員)
9/20(土)	れきはくゼミナール	台湾と石川県 「歴史秘話」の秘話 (本康宏史 学芸専門員)

開講時間：午後2時～(講演会と列品解説は午後1時30分) 会場：常設スボット解説：関係各展示室
れきはくゼミナール・実演会・講演会：学習ホール
受講料：無料 列品解説は入館料が必要。
申し込み：不要 当日受付へお申し出下さい。

主な刊行物のご案内

- 石川県立歴史博物館展示案内 (税込定価) 一、〇〇〇円
- 利家とまつの子きた時代 戦いくらし女たち 一、九〇〇円
- 景勝をめぐる いしかわの景観史 一、二〇〇円
- いしかわの歌仙絵馬 一、四〇〇円
- 風俗画伯 巖如春 都市の記憶を描く 一、四〇〇円
- 源平合戦と北陸 義経伝説を育んだふるさと 一、六〇〇円
- 加賀百万石への道 戦国から太平へ 一、二〇〇円
- 昭和ワンダーランド モノでたどる戦後 一、〇〇〇円
- 石川のお宝史 名宝から文化財へ 一、〇〇〇円
- 弥生ムラの風景 越のクニ生み 境界・交流 一、二〇〇円
- 世界大風呂敷展 布で包むもの心(最新刊七月十九日発売) 一、八〇〇円
- 総合カウンターで販売中。定価はすべて税込。郵送ご希望の方は、当館へ直接お問い合わせいただくか、当館ホームページ「刊行物案内(図録等)」をご覧ください。(電話〇七六 二二六二 三三三六)

行事日録(7～9月)

れきはく
トリヴィア

石川橋の高欄

明治四十四（一九一一年）六月、旧金沢城（当時は旧陸軍第九師団駐屯地）にあった百間堀は、都市交通のさまたげになるとして埋め立てられ、現在の道路になりました。この道路をまたいで、石川門と兼六園を結ぶために架けられた鉄筋コンクリート製の橋が、おなじみの石川橋です。その後、平成七（一九九五）年の掛け替え工事によって新・石川橋となるまでの約八十年間、旧陸軍第九師団や金沢大生、観光客らの重要な交通路として、時代を超えて使われてきました。



石川橋の高欄

さて、この石川県の近代建造物を代表する一つともいえる旧・石川橋、その後どうなったのでしょうか。調べて解体されて瓦礫の山となつてしまつたのでしようか。さにあらず。橋の一部は歴史博に残され、しか

も屋外展示されているのです。

「えっ!?、歴史博には時々行くけど、そんなもんどこにあつたがけ?」という声が聞こえてきそう。そんなんですよ。ちょっと目につきににくいですが、え。まあ、とりあえず当館第三棟裏手の駐車場まで足を運び、その脇の林の辺りに目をやって下さい。そこにひっそりと鎮座しているのは、あの旧・石川橋の高欄なのです。側面には「石川橋」「明治四十四年三月架」と刻まれ、上には電灯の支柱も残ります。ただ、この場所に置かれていたのは少しばかりわけがあります。工事で撤去された後、当館でお待ちかねの展示品として、収蔵庫はすでに満杯状態。展示するにしても、なかなか適当な場所が、というわけで落ち着いた先が、この駐車場脇、高欄の歴史的な価値は今後の研究にゆだねられますが、石川近代化の歴史を語る生き証人は、今こゝで静かに、静かに余生を送っているのです。



トリヴィア＝雑学的な事柄や知識、豆知識

次回の展覧会

秋季特別展

御用絵師梅田九栄と俳諧
芭蕉の教えを守つた男

9月20日(土)～11月3日(月・祝)

第1特別展示室

江戸時代の後期、藩の御用も務める絵師であり、俳人として芭蕉の教えを守り伝えた梅田九栄に注目し、著作「俳調一百一首之図屏風」から俳諧のおもしろさを紹介します。



俳調一百一首之図屏風(部分)

歴史体験コーナー 近世編

9月13日(土)～3月22日(日)

楽しい歴史体験ができる人気コーナー。いよいよ近世編に模様替えです。「甲冑・旅の衣装を着る」「駕籠に乗る」「千両箱を持つ」などなど豊富なメニュー。みんなで江戸時代にタイムスリップ!



展示替えによる休館日(7～9月)

7月7日(月)～8日(火)	2日間
7月17日(木)～18日(金)	2日間
9月8日(月)～9日(火)	2日間
9月18日(木)～19日(金)	2日間

本多の森林から

「世界の大風呂敷展」が始まります。最近では環境問題に対する関心の高まりから、風呂敷も何かと注目されているようです。それにしても風呂敷なるものは日本独特の文化かと思いきや、なんと世界中にあるんですね。そして「包む」ということに、こんなに様々なメッセージがこめられているとは。知っているようで意外に知らない風呂敷の世界、この夏一緒にちょっと旅してみませんか。